

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 2日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者
住 所 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
氏 名 獨協医科大学病院
病院長 麻生好正
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 (0282) 86 - 1111(代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	獨協医科大学病院
事業場の所在地	栃木県下都賀郡壬生町北小林880
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	病院〔8311〕
② 事業の規模	病床数 1, 195床 (一般/1, 153床、精神/42床)
③ 従業員数	2, 712名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2のとおり			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	排 出 量	613.027 t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	排 出 量	600.000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3のとおり		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3のとおり		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	全処理委託量	613.027 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	613.027 t	t
	再生利用業者への処理委託量	613.027 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	613.027 t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	全処理委託量	600.000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	600.000 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	600.000 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	600.000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	613.027 t	
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェスト導入済み。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

＜特別管理産業廃棄物の一連の処理工程＞

(1) 医療廃棄物収集・運搬許可番号

学内の清掃	清掃業者	
感染物 収集・運搬	収集・運搬業者	許可番号 : 発生地 栃木県 処分地 東京都
感染物 処分	処分業者	許可番号 : 許可都道府県政令市 東京都

* 感染性廃棄物の、処理委託の方法をすべて処理業者に委託している。

(2) 中間処理方法

処 分 業 者

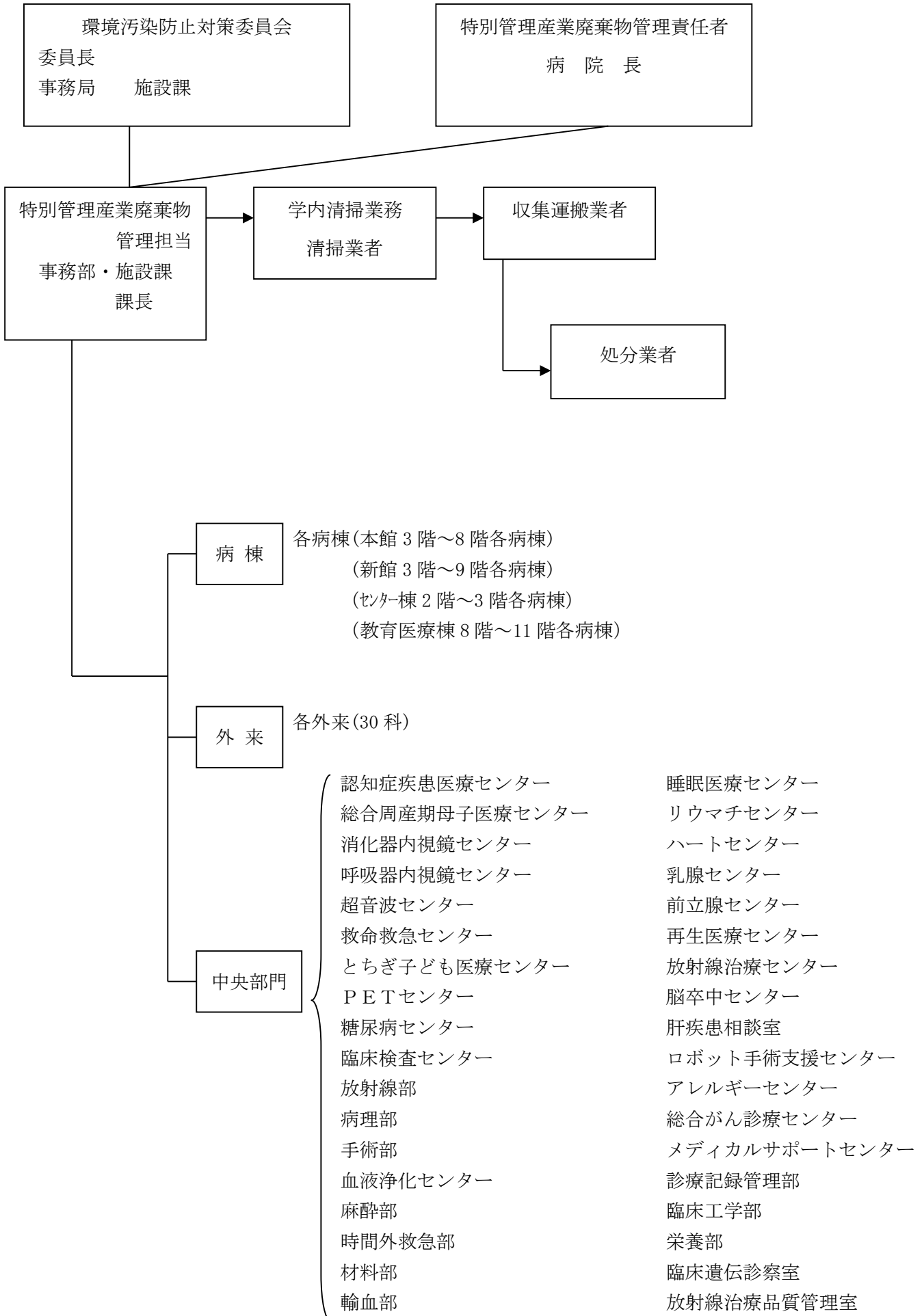
中間処理業者 (ヴァーチカル炉)	東京都		
	処分業者		
	許可番号 : 許可番号 :		
処理方法	焼却	処理能力	100 t/日
焼却炉の方式	ヴァーチカル炉		
焼却温度	900℃～950℃	熱しゃく減量	5%
排気ガス処理設備	ろ過式集じん器、洗煙設備、触媒反応塔		
排水処理設備	洗煙排水処理設備、無機系排水処理設備		
処分業者 (ガス化融解炉)	東京都		
	処分業者		
	許可番号 :		
処理方法	融解	処理能力	550 t/日
焼却炉の方式	ガス化融解炉		
焼却温度	1450℃	熱しゃく減量	0%
排気ガス処理設備	ろ過式集じん器、洗煙設備、触媒反応塔		
排水処理設備	洗煙排水処理設備、無機系排水処理設備		

<特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項>

(1) 管理体制図

	統括責任者	所属：獨協医科大学病院 職名：病院長
	廃棄物担当	組織名：施設課 組織人数：4人 職名：課長
役割	環境汚染防止対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・ 委員長 ・ 事務局－施設課
	廃棄物処理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 感染性廃棄物管理規程の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当課責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 職員、関連会社に対する教育・啓発 ○ その他関係する事項

廃棄物管理組織



〈産業廃棄物の排出の抑制に関する事項〉

	これまでに実施した取組み	今後実施する予定の取組
感染性産業廃棄物	ディスポーザブル製品の見直し。	過剰包装製品を使用しない。

〈産業廃棄物の分別に関する事項〉

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に対する取組み	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に対する取組み
感染性産業廃棄物	<p>①注射針・注射器・点滴セット・鋭利なもの・化学療法に使用した物品等 → 感 染 物 用 フ ° ラ ス チ ッ ク 容 器 (20ℓ, 40ℓ, 50ℓ)</p> <p>②血の付いたガーゼ・脱脂綿・血液パック・その他感染物のもの等 → 感 染 物 用 タ ン ホ ール 容 器 (40ℓ, 50ℓ, 100ℓ)</p> <p>③ おむつ → 感 染 物 用 タ ン ホ ール 容 器 (60ℓ)</p> <p>医療廃棄物処理用容器 (バイオハザードマーク付) を使用。</p>	<p>感染性廃棄物処理規程に基づき、分別表に沿った分別の強化、更なる周知徹底を図る。</p>

〈産業廃棄物の処理の委託に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
感染性産業廃棄物	優良認定業者を優先する。	現状を継続する。